

国語科年間指導計画【論理国語2年】

■単位数

2 単位

■使用教科書

論理国語（大修館書店）

■目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

■内容

〔知識及び技能〕
 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 ア 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解すること。
 イ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。
 ウ 文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めること。
 エ 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。
 (2) 文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 ア 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めること。
 イ 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使うこと。
 ウ 推論の仕方について理解を深め使うこと。
 (3) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 ア 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めること。
 〔思考力、判断力、表現力等〕
 A 書くこと
 ア 実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めること。
 イ 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえること。
 ウ 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫すること。
 エ 多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にすること。
 オ 個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫すること。
 カ 文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。
 B 読むこと
 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握すること。
 イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。
 ウ 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈すること。
 エ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価すること。
 オ 関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めること。
 カ 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めること。
 キ 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすること。

■評価の観点とその趣旨

(1) 知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
(2) 思考・判断・表現	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
(3) 主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

■指導計画

月	単元名	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等								言語活動	教材	評価の観点及び評価方法	配当 予定 時数	
		(1)	(2)	(3)	A 書くこと				B 読むこと								
					ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ					
4	世界・言葉・私		●											評価、賛否、提案など、自分の考えを述べる。	世界を広げる「批評」の言葉 宇野常寛	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート	6
5		●				●									書く 言葉を定義する	3	
6	芸術と文化		●											的確に伝えるように具体的に書いたり抽象的に書いたりする。	余白の美学 高階秀爾	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート	7
7				●			●								書く 具体的/抽象的に書く	3	
9	共同体のいま		●											資料から読み取ったことを正確に書き、自分の考えと読み取れたことを区別して書く	コミュニティから見た日本 広井良典	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート	6
				●			●								書く 統計資料から分析したことを書く	3	
10	科学の可能性		●											主張を支える具体例を用いて、自分の意見を補強する。	自己をモデル化する知能 石黒浩	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート	6
				●			●								書く 立場を明確にして書く	3	
11	日本語の多様性		●											主張と根拠をとらえ、わかりやすく要約する。	敬語への自覚、他者への自覚 橋本治	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート	6
12				●		●									書く 情報を集めて分類する	3	
1	思考の枠組み			●										異なる論点を持つ二つの文章を読み比べ、そこから自分の考えをまとめ、発表する。	絵を見る技術 秋田麻早子	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート	7
			●				●								書く 図版を分析して書く	4	
2	グローバル化の先へ		●											関心を持ったテーマについて様々な資料を調べ、小論文を書き、推敲する。	心に「海」を持って 山崎正和	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート	7
				●			●								書く 調べたことをレポートにまとめる	6	

令和8年度 国語科年間指導計画【古典探究】

■単位数

2単位

■使用教科書

精選古典探究（第一学習社）

■目標

- 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
 - 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
 - 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

■内容

〔知識及び技能〕

- 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。
イ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。
ウ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。
エ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めること。
- 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めること。
イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。
ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。
エ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。

〔思考力、判断力、表現力等〕

A 読むこと

- 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。
イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。
ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。
エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。
オ 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすること。
カ 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること。
キ 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。
ク 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすること。

■評価の観点とその趣旨

(1) 知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。
(2) 思考・判断・表現	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
(3) 主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

■指導計画

月	単元名	知識及び技能				思考力、判断力、表現力等				言語活動	教材	評価の観点及び評価方法	配当 予定 時数		
		(1)		(2)		読むこと									
		ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ					ア	イ
4	説話（一） 著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解を深める。	●									『古今著聞集』の「小式部内侍が大江山の歌の事」に関連させて、著名な歌人である母和泉式部と小式部内侍との親子関係を調査する。	小式部内侍が大江山の歌の事（橋成季「古今著聞集」）	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート・定期テスト (3)小テスト・ワークシート・定期テスト	6	
5	故事・寓話 現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、日本語に与えた影響を理解する。										友情に関する故事成語の由来と意味を調べよう。	知音（「呂氏春秋」）	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート・定期テスト (3)小テスト・ワークシート・定期テスト	4	
5	随筆（一） 争乱と政変の時代を生きた作者の、世の諸事象に向けた批評の目を通して、ものの見方や考え方を深める。	●									無常観の表現を理解する	あだし野の露消ゆるときなく（「徒然草」）	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート・定期テスト (3)小テスト・ワークシート・定期テスト	5	
6	名家の文章 本文の展開とともに、比喩に込められた作者のものの考えについて理解を深める。										唐宋八大家について調べる	韓愈（「雑説」）	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート・定期テスト (3)小テスト・ワークシート・定期テスト	4	
6	物語（一） 歌物語から古典の世界の多様性を知る。	●									平安時代の風習を理解しよう	初冠（「伊勢物語」）	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート・定期テスト (3)小テスト・ワークシート・定期テスト	5	
7	随筆（二） 内容・形態によって表れたものの見方や考え方を理解する。										清少納言と漢詩について調べよう	二月つごもりごろに（「枕草子」）	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート・定期テスト (3)小テスト・ワークシート・定期テスト	5	
9	項羽と劉邦 登場人物の描写を読み解き、戦乱の時代を生きた人々の人物像に考察を深める。										劉邦の人物像をまとめよう	四面楚歌（「史記」）	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート・定期テスト (3)小テスト・ワークシート・定期テスト	5	
10	物語（二） 歌物語と歴史物語の二つの承譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。										光る君の誕生による心情変化をまとめよう	光る君誕生（「源氏物語」）	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート・定期テスト (3)小テスト・ワークシート・定期テスト	9	
11	漢詩の鑑賞 漢詩の表現や技法の理解を深め、古代中国への思いや考えを広げる。	●									漢詩の字句や構成を検討しよう	中国の詩 独坐敬亭山（李白） 日本の詩 不出門（菅原道真）	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート・定期テスト (3)小テスト・ワークシート・定期テスト	4	
12	物語（三） 軍記物語を読んで、登場人物の行動とそれを支える思想や歴史的背景を理解する。										もうひとつの『平家物語』と比較し、違いをまとめよう。	忠度の都落ち（「平家物語」）	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート・定期テスト (3)小テスト・ワークシート・定期テスト	8	
1	諸家の思想 老子 儒家と対立する道家の古典である『老子』を読み、古代中国思想の理解を深める。										名句・名言について調べる	老子 小国寡民	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート・定期テスト (3)小テスト・ワークシート・定期テスト	4	
1	和歌・俳諧 わが国の伝統文化の一つである和歌の表現の特色を理解する。	●									和歌の鑑賞文を書こう	万葉集・古今和歌集・新古今和歌集	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート・定期テスト (3)小テスト・ワークシート・定期テスト	5	
2	不思議な世界 人に何らかの影響を及ぼす「虫」という考えに触れ、劉氏にとっての酒虫の意味を考える。										読み比べる・酒虫	酒虫	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート・定期テスト (3)小テスト・ワークシート・定期テスト	6	

国語科年間指導計画【2年文学国語】

■単位数

2単位

■使用教科書

新編「文学国語」(大修館書店)

■目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
 (2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

■内容

〔知識及び技能〕
 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 ア言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解すること。
 イ情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにすること。
 ウ文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めること。
 エ文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解し使うこと。
 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 ア文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。
 イ人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。
 (思考力、判断力、表現力等)
 A 書くこと
 ア文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にすること。
 イ読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫すること。
 ウ文体の特徴や修辭の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫すること。
 エ文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特質や課題を捉え直ししたりすること。
 B 読むこと
 ア文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えること。
 イ語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈すること。
 ウ他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察すること。
 エ文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察すること。
 オ作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めること。
 カ作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めること。
 キ設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のもの見方、感じ方、考え方を深めること。

■評価の観点とその趣旨

(1) 知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。
(2) 思考・判断・表現	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
(3) 主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉の持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

■指導計画

月	単元名	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等										言語活動	教材	評価の観点及び評価方法	配当 予定 時数		
		(1)		(2)		書くこと		読むこと											
		アイウエ	アイ	アイウエ	アイ	アイウエ	アイウエ	オカキ											
4	明日をひらく 筆者の主張を読み取る	●													●	筆者の主張を読み取る	「少なくとも最後まで歩かなかった」	(1) ワークシート、定期テスト (2) ワークシート、定期テスト (3) ノート	5
5	書く 写真に一言		●					●								写真に一言を添えてみよう	書く 「言葉でスケッチ① 一言で心をつかもう」	(1) ワークシート (2) ワークシート (3) 振り返りシート	3
6	小説を楽しむ(一) 登場人物の心情を捉える			●										●		正太郎に対する中村さんと英夫くんの思いを説明しよう	「ナイン」	(1) ワークシート、定期テスト (2) ワークシート、定期テスト (3) ノート	10
7	書く おすすめ本の魅力を言葉で表そう							●							●	私の好きな(おすすめ)本の魅力が伝わる紹介文を書いてみよう	ビブリオバトル	(1) ワークシート (2) ワークシート (3) 振り返りシート	4
9	古典の世界1 話しの面白さを捉える				●											面白いと思うことを話し合おう	『醒睡笑』 「星取り」	(1) ワークシート、定期テスト (2) ワークシート、定期テスト (3) ノート	2
10	詩を味わう 詩の構成と表現を理解する				●											詩の様々な表現と効果を説明しよう	「道程」 「永訣の朝」	(1) ワークシート、定期テスト (2) ワークシート、定期テスト (3) ノート	6
11	名作を読む(一) 文体の特徴を味わう				●										●	登場人物の生き方をまとめよう	「山月記」	(1) ワークシート、定期テスト (2) ワークシート、定期テスト (3) ノート	16
12	古典の世界2 かぐや姫の心情と変化を読み取る					●										天の羽衣でかぐや姫はどのようjに变化したかまとめよう	『竹取物語』「かぐや姫の昇天」	(1) ワークシート、定期テスト (2) ワークシート、定期テスト (3) ノート	6
	書く エッセイを書こう					●			●							テーマは自由にエッセイを書こう	書く 思いを言葉に① 「エッセイを書こう」	(1) ワークシート (2) ワークシート (3) 振り返りシート	6
1	社会に生きる 作品の寓意を読み取る															「靴」について説明しよう	「靴」	(1) ワークシート、定期テスト (2) ワークシート、定期テスト (3) ノート	7
2	書く 手紙を書こう															作家に向けて自分の思いを手紙に書こう	書く 思いを言葉に② 「手紙を書こう」	(1) ワークシート (2) ワークシート (3) 振り返りシート	5

□「書くこと」に関する指導の予定単位数 18 時間 (15~20単位時間程度)
 □「読むこと」の古典に関する指導の予定単位数 52 時間 (50~55単位時間程度)